

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞
「掌蹠膿疱症性骨関節炎の患者報告アウトカム」に関する探索的観察研究
＜研究機関・研究責任者名＞
日本大学医学部皮膚科 診療助教 井汲菜摘
＜研究期間＞
機関の長の初回許可日 ～ 令和 8 （西暦 2026 ）年 3 月 31 日
＜対象となる方＞
2014 年 1 月～2025 年 9 月までに皮膚科で掌蹠膿疱症性骨関節炎の診療を行った 18 歳以上 の方です。
＜研究の目的＞
掌蹠膿疱症性骨関節炎は掌蹠膿疱症に合併し骨痛、関節痛を生じる疾患です。掌蹠膿疱症性骨関節炎の疾患活動性指標には画像評価や血液検査データなどだけでなく、脊椎関節炎疾患で用いられる評価方法を応用することが一般的です。リウマチ性疾患では治療効果に患者報告アウトカムを用いることも提唱されていますが、現時点で掌蹠膿疱症性骨関節炎の患者報告アウトカムのデータは乏しいです。 当院皮膚科で掌蹠膿疱症性骨関節炎の診療中に実施した患者報告アウトカムがほかの疾患活動性指標と相関するか、またその指標の各項目（尺度）に一貫性があるのかを検討します。
＜研究の方法＞
データを集計し、統計解析ソフトを用いて患者報告アウトカムと疾患可動性指標に相関があるかを検討します。さらに患者報告アウトカムの各項目（尺度）の一貫性を検討します。
＜研究に用いる試料・情報の項目＞
診療記録より、年齢、性別、喫煙歴、合併症、併用薬剤、X 線写真・超音波画像・CT・MRI・アイソトープ検査画像（病型評価のため）、血液検査データ（血算、免疫生化学検査所見 例えば、白血球数、CRP、赤沈）、治療内容、活動性指標スコア（mBASDAI、mASDAS、疼痛・患者全般スコア、皮膚所見 PPPASI）、mPsAID-12 及び mRAID 質問票（患者疾患アウトカム）の情報を使用いたします。
＜お問い合わせ窓口＞
日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1） 皮膚科 氏名：井汲 菜摘 電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2502 (PHS) 8194

※研究対象者とは、以下に該当する方（死者を含む。）を指します。

①研究を実施される方

②研究に用いられることとなる既存試料・情報を取得された方